

夏休みを安全に過ごすために

(中学生・保護者用)

夏休みは自由な時間も多く、夜遅くまで外出しがちです。

犯人は、昼夜・場所・男女を問わず、ターゲットを探しています。

夏休みを安全に過ごすために次の点に注意してください。

1. できるだけ一人で行動しない。

夏は、地域の祭りや花火大会などイベントがたくさんあります。

犯人は、その帰り道をねらって人通りの少ない道や暗い場所で待ち伏せます。

帰宅する時は、単独行動を避け、複数での行動を心がけましょう。



2. 明るく人通りの多い道、場所を選ぶ。

塾や部活などで帰宅が遅くなる時は注意が必要です。複数での行動は、性犯罪等の被害を防ぐ良い方法ではありますが、最後の道のりは一人になることがほとんどです。

保護者に迎えに来てもらうこともできますが、その待ち時間に一人になることがあります。

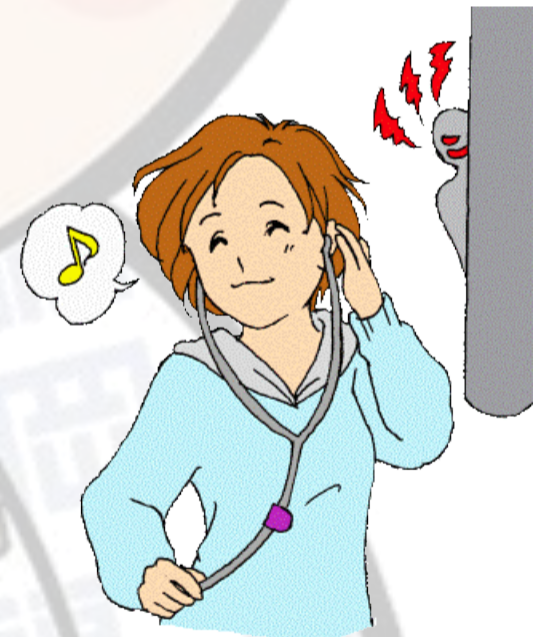
一人で行動する場合は、明るく人通りの多い道や場所を選びましょう。

3. “ながら”歩きをしない。

外出時、携帯やスマホを片手にメール等をしながら歩いていませんか？

「自転車に乗りながら」は、法律で禁じられています。

ながら歩きは、周囲への注意力が散漫になることから、犯人からは『スキが多い』と見られ、性犯罪等のターゲットにされます。



LINE (ライン)、Facebook (フェイスブック)、mixi (ミクシィ) に代表されるSNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) やコミュニティサイト、交流サイトなどを利用し、性犯罪等の被害にあわないよう特に注意が必要です。

インターネット上では、悪意のある人が、同年代や同性を装って相談を持ちかけたり、写真の送信を要求したり、実際に会おうと誘ってきますが、これらの誘いに乗ってはいけません！

危険から自分を守り楽しい夏休みにしよう